街歩きヒストリア

中央公民館で講演をする原民喜（遺族・著作権継承者原時彦氏提供）

⑳ 原民喜と中央公民館

中区幟町の生家で被爆し、その体験を作品に描いた原民喜。代表作「夏の花」や「原爆小景」など被爆の実相を伝える作品は、多くの人々に読み継がれています。

彼は被爆後、再び上京しますが昭和25（1950）年4月、日本ペンクラブ広島の会の催しのため帰広。中央公民館で講演をしており、平和への熱い思いを語っています。

その様子は小説「永遠のみどり」に詳述されています。被爆 75年の夏、改めて彼の言葉に触れてみてはいかがでしょうか。（文・片山典子さん）

平和記念公園内（原爆ドーム東側）の原民喜詩碑

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。

HP（検索：広島市中央公民館）にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。